

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
精神看護学実習Ⅰ(高度実践看護役割・機能の実習)	1	後期	2	実習 90時間
担当教員	田中美恵子、中島洋一、松丸直美			
授業概要	基盤分野、ならびに精神看護学特論Ⅰ～Ⅴ、精神看護学演習Ⅰ～Ⅲの学習をもとに、実習Ⅰでは特に、CNSの役割と機能を学習し、精神看護専門看護師としての実践能力の基礎を養う。			
到達目標	1. 精神科医療施設におけるCNSの役割と機能について参加観察を通して学習する。 2. 各自の関心テーマに基づいて、独自に実習の焦点を定め、それに基づいて実習中に参加観察を行う。			
履修条件	精神看護学特論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修済みのこと			
授業計画	1. CNSの役割と機能について、病院CNSからオリエンテーションを受け、CNSの活動に同行し、相談・調整・教育などのCNSの役割と機能について参加観察を通して学習する。 2. 1日の終わりに、CNSとカンファレンスを実施し、その活動の意図について検討する。 3. 最終カンファレンスにおいて、CNSの役割と機能について学習したところを発表し、ディスカッションを通して、学びを共有する。その際、学生は交代で司会を実施する。その他、各自の実習の焦点に合わせ、学びを発表し、実習全体の学びを相互に共有する。 *詳細は後日、オリエンテーション時に説明する。			
教科書	特に指定せず。			
参考書	Hamric,A.B., Hanson, C.H., Tracy, M.F.et.al 中村美鈴、江川幸二監訳：高度実践看護 統合的アプローチ、ヘルス出版、2017。 野末聖香編：リエゾン精神看護 患者ケアとナース支援のために、医歯薬出版、2004。 宇佐美しおり、野末聖香編：精神看護スペシャリストに必要な理論と技法、日本看護協会出版会、2009。			
評価方法・基準	実習・カンファレンスへの参加度30%、レポート70%によって、総合的に評価する。			
事前・事後学習	これまでの学修を再度確認して深めておくこと(1時間程度)。自己の実習における課題について明確にしておくこと。事後は実習の振り返りを行うこと(2時間程度)。			
備考	授業場所：井之頭病院 実習場所：公益財団法人井之頭病院 実習期間：原則として2月～3月の2週間(4日/週×2週間：8日間)1限～4限 *但し、火・水・木・金とする。			